

使用上の注意改訂のお知らせ

アミノフィリン静注液250mg「ツルハラ」

この度、下記のとおり使用上の注意を改訂致しましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

◆改訂内容（下線は変更箇所）

改訂後	現行																				
<p>7. 用法及び用量に関連する注意</p> <p>〈気管支喘息〉</p> <p>7.1 小児に投与する場合の投与量、投与方法等については、学会のガイドライン等、最新の情報を参考に投与すること。[9.7.1 参照] 〈参考：日本小児アレルギー学会：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン¹⁾〉</p> <p>7.1.1 喘息の急性増悪（発作）時のアミノフィリン投与量の目安</p> <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">投与量</th></tr><tr><th>初期投与量 (mg/kg)</th><th>維持量 (mg/kg/時)</th></tr></thead><tbody><tr><td>あらかじめ経口投与されていない場合</td><td>4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注</td><td rowspan="2">0.6～0.8mg/kg/時</td></tr><tr><td>あらかじめ経口投与されている場合</td><td>3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注</td></tr></tbody></table> <p>・初期投与量は、250mgを上限とする ・肥満がある場合、投与量は標準体重で計算する</p>		投与量		初期投与量 (mg/kg)	維持量 (mg/kg/時)	あらかじめ経口投与されていない場合	4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注	0.6～0.8mg/kg/時	あらかじめ経口投与されている場合	3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注	<p>7. 用法及び用量に関連する注意</p> <p>7.1 <u>本剤を小児の気管支喘息に投与する場合の投与量、投与方法等については、学会のガイドライン等、最新の情報を参考に</u>とすること。[9.7.1 参照] 〈参考：日本小児アレルギー学会：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2017〉</p> <p>7.1.1 喘息の急性増悪（発作）時のアミノフィリン投与量の目安</p> <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">投与量</th></tr><tr><th>初期投与量 (mg/kg)</th><th>維持量 (mg/kg/時)</th></tr></thead><tbody><tr><td>あらかじめ経口投与されていない場合</td><td>4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注</td><td rowspan="2">0.6～0.8mg/kg/時</td></tr><tr><td>あらかじめ経口投与されている場合</td><td>3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注</td></tr></tbody></table> <p>・初期投与量は、250mgを上限とする ・肥満がある場合、投与量は標準体重で計算する</p>		投与量		初期投与量 (mg/kg)	維持量 (mg/kg/時)	あらかじめ経口投与されていない場合	4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注	0.6～0.8mg/kg/時	あらかじめ経口投与されている場合	3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注
		投与量																			
	初期投与量 (mg/kg)	維持量 (mg/kg/時)																			
あらかじめ経口投与されていない場合	4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注	0.6～0.8mg/kg/時																			
あらかじめ経口投与されている場合	3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注																				
	投与量																				
	初期投与量 (mg/kg)	維持量 (mg/kg/時)																			
あらかじめ経口投与されていない場合	4～5mg/kgを30分以上かけて点滴静注	0.6～0.8mg/kg/時																			
あらかじめ経口投与されている場合	3～4mg/kgを30分以上かけて点滴静注																				
<p>23. 主要文献</p> <p>1) 滝沢琢己, 手塚純一郎, 長尾みづほ, 吉原重美監修：一般社団法人日本小児アレルギー学会編 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2023, 協和企画 2023</p>	<p>23. 主要文献</p> <p>関連記載なし</p>																				

◆改訂理由

- ・自主改訂：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン（日本小児アレルギー学会編）に伴う記載整備

【電子化された添付文書（電子添文）の閲覧について】

製品の外箱等に記載されたGS1バーコードを専用のアプリケーション（添文ナビ）で読み取ることで、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページより本製品の最新の電子化された添付文書をご覧頂けます。

また、電子化された添付文書については、弊社ホームページ（<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp/medical/>）からも閲覧、印刷頂けます。

紙媒体の添付文書をご希望される場合は、お手数をお掛け致しますが、弊社MR又は弊社問合せ先までご連絡ください。

専用のアプリケーション（添文ナビ）で下記GS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。



(01) 1 4987271 10365 0

【弊社問合せ先】 鶴原製薬株式会社 医薬情報部 TEL：0120-901-758 受付時間 9：00～17：15（土・日、祝祭日、弊社休業日を除く）